

福祉のひろば



2015



特集

人権と選挙

社会福祉研究交流集会 第19回合宿研究会in京都

社会福祉研究に問われる今

編集 総合社会福祉研究所

住む人・使う人が主人公！

私たちは住む人・使う人の
立場に立って設計しています。
お気軽にご相談下さい。

京都建築事務所

〒 604-8083

京都市中京区三条柳馬場東入中之町10

代表取締役社長 川下 晃正

TEL (075) 211-7277

FAX (075) 211-7270

http://www.kyoto-archi.co.jp/

〒601-8382

京都市南区吉祥院石原上川原町21
http://www.creates-k.co.jp

湯川夏子 ◆ 編
前田佐江子・明神千穂 ◆ 共著
B5判オールカラー
2200円＋税



認知症ケアと予防に役立つ 料理療法

料理を通してやる気と
自信を呼びさます！

料理は多くの調理操作が
あり、動作は手続き記憶と
して残っている。高齢者には
長年慣れ親しんできた日常
生活の一端。人気のメ
ニュー&レシピ14品も紹介！

資料付 すく使える同意書・
計画書・アセスメント表など

クリエイツかもがわ



武地一 ◆ 編著・監訳
1600円＋税



認知症カフェ ハンドブック

イギリスの認知症カフェに学び、
開設するための具体的な方法を
わかりやすく紹介！

認知症になったからと引きこもっ
たり、悩んだりするのではなく、気
軽にふらっと立ち寄って、話し合っ
てみたい。そんな場所が認知症カ
フェ。日本の先駆的な認知症カ
フェの取り組みも掲載。

A5判オールカラー
1800円＋税
芝田徳造・正木健雄
久保健・加藤徹 ◆ 編



すべての人が輝く みんなのスポーツを オリンピック・パラリンピックの 壁を越えて

すべての人が楽しめる
スポーツの追求・創造を！

スポーツは生きる力、障がいのある
人もない人も、ともに楽しめるス
ポーツを！ パラリンピック・オリ
ンピックの壁を取り払い、一体とな
った組織・運営、可能な限りの共同競
技開催を呼びかける。

TEL 075 (661) 5741
FAX 075 (693) 6605
送料何冊でも240円

私たちの願いにそった「本物の政治」、 大阪府政・大阪市政を実現するために！ ヒューマンウェーブ集会



はじまりは1991年、「障害者の日」に合わせ、当事者・家族・関係者（教員・福祉分野）が、障害者の人権と福祉・教育の前進を目指して集まりました。それから四半世紀、屋外集会の会場は府庁前から大手前遊歩道へ、そして教育塔前広場へと変わりました。参加者は最高時の2000名（2000年）より減っていますが、流れを途切れさせることなく、続けています。



集会内容は団体からリレートークを中心に、府庁前早朝宣伝、府政の問題点をテーマにしたぬいぐるみ劇、座り込みの抗議行動等、参加しやすく府民・市民に理解してもらいやすいように、さまざまな工夫とアピールを行ってきました。



集会のメインである直接請願行動では、大阪府職員に直接手渡ししながら、要望を訴えてきました。

「重度障害者医療費助成制度を守れ」「養護学校（当時）を建てろ」「障害児学級の重度加配教員の削減をやめろ」「障害児教育の専門性を損なう強制人事異動をやめよ」「学校給食民間委託化反対」「障害者自立支援法を廃止し、障害者の豊かな暮らしが実現できる施策を」など、私たちの切実な要望を訴えてきました。

そのような力を背景に、障害児学校建設など、私たちは「重い扉をこじあけて」きています。



今年は、これまで以上に、当事者・家族と
りわけ青年当事者を中心に進めようと呼び
かけ準備をしました。彼らが考えたコールは
とても好評、みんなが元気になる集会となり
ました。

消費税 一〇パーセント 反対
ともだち いっぱい 欲しい
シヨートの 日数 増やせ
ひとりで 生活 したーい
もっと 勉強 したーい
専攻科を つくれ
居場所が 欲しい
もっと楽しく 働きたい
作業所 もっと 増やせ
寄宿舎が ほしい
最賃 千円 欲しい
つくってほしい 発達障害手帳
年金 下げるな 増やせ
グループホームを ふやせ
先生 もっと ふやせ
看護師 もっと ふやせ
学校 増やして 近くの 学校 行きたい

(写真) 下野 祇園、文・きょうざれん大阪支部
あまたのふゆき
雨田信幸

【ひろばトーク】

“当事者の願い”を実現する運動を受け継いで 宮城 僚太 6

福祉のひろば

2015年3月号

●特集● 人権と選挙

私の選挙体験 12

投票所に行けなくても投票できます 14

ホンモノの投票箱で選挙に挑戦！ 林 裕也 19

視覚障害者と参政権 阿部 正文 20

第19回合宿研究会 in 京都 社会福祉研究に問われる今

国民の権利をひろげることをめざす総合社会福祉研究所の役割
石倉 康次 23

社会運動があつてこそ社会保障・社会福祉は前進する
浜岡 政好 27

なぜ日本国憲法を守らないといけないのか 石川 康宏 35

合宿研Q & A 43

合宿研に参加して 千 恵蘭、田中武士、間島恵子、薄 美穂子 49

●トピックス●

第21回社会福祉研究交流集会 in 埼玉 53

●連載●

フォーラム 「共に支え合う地域づくり」の中身 河合 克義 56
あれから3年……釜石・東日本大震災を記録する会代表(最終回)
十二、「小〇」(困る)の旗かかげ、被災地の声を政府、国会へ
前川 慧一 58

相談室の窓から 就職をためらうY男さん 青木 道忠 60

新連載紹介 62

育つ風景 そうして親になっていく 清水 玲子 64

いっぽいっぽの挑戦 (最終回)
「権利としての福祉」を伝える 繁澤 多美 66

映画案内 『ペコロスの母に会いに行く』 吉村 英夫 68

現代の貧困を訪ねて 生田 武志 70

フリーターズフリー-3号「反貧困運動と自立支援」の発行

なにわ銭湯見聞録 (23) 北陸からの使者 ラッキー植松 72

いただきます！ 城東特別養護老人ホーム 74

さっくりやわらか！ 里いももちの五平餅

ホームレスから日本を見れば ありむら潜 76

花咲け！男やもめ 川口モトコ 77

●表紙の絵●
神門やす子



●カット●
川本 浩

みんなのポスト 54 / 福祉の動き 78 / 今月の本棚 81

●グラビア● 私たちの願いにそった「本物の政治」、大阪府政・大阪市政を実現するために！ヒューマンウェーブ集会

“当事者の願い”を 実現する運動を受け継いで

きょうされん沖縄支部事務局次長 宮城僚太さん

私の故郷は、沖縄県の離島「伊良部島」です。今年一月三十一日、島民の悲願であった宮古島と伊良部島を結ぶ、「伊良部大橋」が開通を迎えました。全長三五四〇メートル。まさに、島民のこれまでの願いを物語るような、日本最長の橋として誕生しました。橋が架かることで、生活が格段に便利になり、私たちがこれまで描いていた夢や希望がかなう可能性が広がるよるこびがあります。一方で、生活の中に根付いてきた船での移動の歴史が、しずかに幕を閉じることでもあり、胸が熱くなる思いです。同時に、「願いはかたちになる」ということを目の当たりにした瞬間でもありました。

障害福祉の分野でも、願いがかたちとなった物語が沖縄でうまれました。約三五年前、養護学校（当時）卒業後の居場所や働く場が整備されていないなか、卒業生たちの「働きたい」という願いをうけとめた教師たちが立ち上がり、学校の体育館で日曜学級がスタートしました。そこで作業をする卒業生の自信に満ちたすがたに、居場所づくりの願いは地域のなかで生活していきける環境をつくりたいという願いに発展し、教師、父母、子どもたちを中心に「共同作業所づくり運動」がはじまりました。地域の廃品回収からスタートした運動は、やがて今日の事業所の原点となる、沖縄初の共同作業所を実現させたのでした。

もしあのととき、卒業生が「働きたい」という願いを口にしなかったら、その卒業生の声に耳を傾けていなかったら、現在の障害福祉の到達は、いまとはかけ離れた状況になっていたでしょう。あのとときの卒業生の願いがあったからこそ、現在の事業所が存在していることを、私たちは胸に刻んでおくことが大切だと思います。

こうして誕生した共同作業所は県内各地に広がり、障害のある方々の働く場所、地域のなかで生活したいという願いを実現するための場所として、重要な役割を担ってきま



みやぎ りょうた

1985年沖縄県伊良部島生まれ。伊良部高校を卒業後、宮崎県にある宮崎医療管理専門学校に進学。専門学校を卒業後、沖縄本島の障害福祉施設に就職。現在、NPO法人あすなる福祉会特定相談支援事業所あすなるの樹で管理者兼相談支援専門員、きょうされん沖縄支部事務局次長。

した。時代とともに作業所の数もふえ、障害福祉制度の改革とともに運営主体も多様化し、福祉分野の事業を身近にみるようになりました。

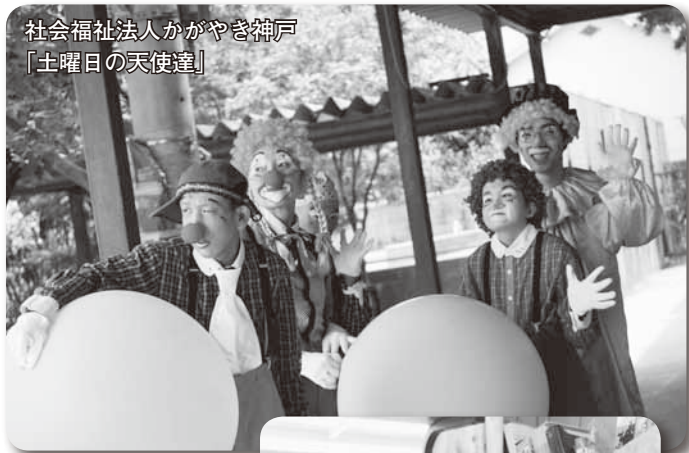
制度や事業所が変化していくなか、障害のある方々の生活は変わったのでしょうか。相談支援の現場において、私は、当事者の生活はあの当時から変化していないのではないかと感じることも多くあります。現在の障害福祉制度が、当事者の願いに制限をかけるという事態が起きているのです。

たとえば、二〇一五年度より、福祉サービス利用時にはサービス利用計画の作成が義務づけられました。しかし、事業所を利用したいけれど計画作成の相談員が見つからず事業所が利用できない、相談支援事業所の数が足りず依頼者の数に追いついていない、という問題ができています。しかし、行政の対応は何の変化もありません。

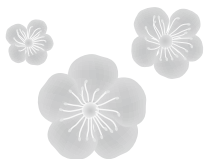
当事者のみなさんは、相談支援事業所の空きがでるのを待つことしかできず、生活状況や心理状況がさらに悪化してしまうという場面を、相談支援の現場でたくさん目にしてきました。同時に、当事者の願いや思いを実現するための運動は、制度や設備が整っていない時代とくらべて退化しているようにさえ感じます。

現状に甘んじてあきらめてしまうのではなく、あの当時のみなさんが築いてくれたレールを、次世代を担う私たちがしっかりと受け継いでいかなければなりません。そのためには、一人ひとりが課題に直面したとき、ひとつになつて行動できる力がいまこそ必要だと思っています。障害者権利条約が批准されたいま、障害福祉の分野も変化をとげていくでしょう。そのときに「あのときから想像もできないほどいい時代になったね」と思えるように、「願いをかたち」にしていきたいと思います。

社会福祉法人かがやき神戸
「土曜日の天使達」



特集 人権と選挙



東日本大震災からもうすぐ四年を迎えます。この震災で、地方選挙が延期された所もありますが、多くの自治体が震災の年から四年で選挙が行われます。今回は、人権と選挙というテーマで、特に障害のある人たちの選挙権保障を憲法、障害者権利条約、そして、実態を踏まえて考えていきます。



浅田訴訟原告の浅田達雄さん



すみれ共同作業所